氏名	竹 束 正二郎
学位(専攻分野)	博 士(医 学)
学位授与番号	博 乙 第 2446 号
学位授与の日付	平成 4 年 6 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	**担癌マウスにおける摘脾と免疫賦活剤の効果**
論文審査委員	教授 中山 睿一　教授 寺本 滋　教授 赤木 忠厚

学位論文内容の要旨

腫瘍増殖に対する摘脾の効果を検討するために，C3H/Heマウスの皮下に同系MH－134肝癌細胞を移植し，経時的に脾細胞の免疫学的活性を検討した。2つの相反する活性－中和活性とサプレッサー活性－が脾細胞に出現することが明らかとなった。前者は移植14日目より増大，28日目にピークに達し，Lyt-1^+2^-T細胞にみられた。後者は移植3日目に現れ，一度減少し再び増強した。これは初期にはLyt-1^+2^-T細胞にみられ，14日目以降は主にナイロン付着細胞にみられた。そこで，移植3日目に摘脾または偽手術を施行し，腫瘍増殖を見た。両群には有意差はみられなかった。レンチナンによる免疫療法を施行した場合，同様に有意差はみられなかった。しかし，摘脾の如何をとわず移植3日目よりの免疫療法は有意に有効であった。担癌マウスの脾臓には相反する活性が同時に誘導されるため，摘脾の効果をみるのは困難かもしれない。

論文審査の結果の要旨

本研究は，摘脾により抑制性免疫細胞を除去して，効果細胞の有効性を引き出し，さらに免疫賦活剤の投与により抗腫瘍性の誘導を試みたものであります。従来，不明確であった摘脾の妥当性について，免疫細胞学的に重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認めます。

よって，本研究者は，博士（医学）の学位を得る資格があると認めます。